

第4章 他県実地調査

1 調査の目的

他県の状況を調査し、研究会における検討の参考とするため

2 調査内容

知事公邸等の視察、意見交換

3 調査場所

埼玉県、滋賀県、大分県、宮崎県

4 調査結果

(1) 埼玉県

調査年月日	令和2年(2020年)10月27日(火)					
参加者	鶴羽委員、西村委員、森委員					
知事公舎・知事公館の概要						
公 舎	建築年	昭和42年(1967年)	築年数	53年(調査時)		
	面積	約276㎡	居住部分：約276㎡			
	階数	地上1階	間取り	7LDK	庁舎からの距離	0.5km
	同一敷地にある施設	知事公館(連絡通路で接続)				
	周辺の環境	官庁街				
	公舎を有する理由	危機管理上の観点から県庁の近くに居住する必要があるため				
	改修	内容	経年劣化による内部改修			
		費用	約0.2億円			
知事以外の宿舎等	副知事：民間マンションを借上					
公 館	建築年	昭和42年(1967年)				
	面積	約1,096㎡				
	一般開放	なし(県民の日のみ公館を開放)				
	利用方法	要人の応接や会議室として利用				
主な特徴等	<ul style="list-style-type: none"> 調査時は、公舎改修中のため、知事は一時的に民間マンションを借上 民間マンションでは、公用車待機の際などに近隣住民への配慮が必要 					

写 真



公舎外観



公館外観



公館会議室



公舎と公館の連絡通路



公館中庭

(2) 滋賀県

調査年月日	令和2年(2020年)10月28日(水)					
参加者	鶴羽委員、西村委員、森委員					
知事公舎・知事公館の概要						
公 舎	建築年	平成4年(1992年)	築年数	28年(調査時)		
	面積	約278㎡ 居住部分：約141㎡、公用部分：約137㎡				
	階数	地上2階	間取り	4LDK	庁舎からの距離	同一敷地内
	同一敷地にある施設	県庁舎・知事公館(連絡通路で接続)・危機管理対応施設				
	周辺の環境	官庁街				
	公舎を有する理由	災害対応等の緊急時を含め公務を円滑に行うため				
	公用部分の利用方法	応接室を機密性の高い重要案件の打合せ等に利用				
	知事以外の宿舎等	副知事：民間マンションを借上 / 県警本部長・幹部：1棟4戸				
公 館	建築年	平成5年(1993年)				
	面積	約557㎡				
	一般開放	なし(申込みにより見学は可能)				
	利用方法	知事、副知事が対応する行事等を原則とし、表彰・協定等の締結式や懇談会等に利用				
写 真						
						
公舎外観		公館外観		公館・第一応接室(知事執務室)		
						
公館ゲストルーム			公舎と公館の連絡通路			

(3) 大分県

調査年月日		令和2年(2020年)10月29日(木)				
参加者		宇野委員、宇佐美委員				
知事公舎の概要						
公 舎	建築年	令和元年(2019年)		築年数	1年(調査時)	
	面積	約175㎡		居住部分:約175㎡		
	階数	非公開	間取り	非公開	庁舎からの距離	0.7km
	同一敷地にある施設	なし				
	周辺環境	官庁街				
	公舎を有する理由	災害時や接客対応などの公務を円滑に行うため				
	改修	内容	移転改築(耐震化、老朽化、津波浸水区域のため1階は鉄筋コンクリート造)			
		費用	約3.3億円(公館機能含む)			
	知事以外の宿舎等		副知事・県警本部長・防災関係職員等:民間マンションを借上 (県有地を定期借地権契約し、民間事業者がマンションを2棟建設。うち1棟を職員宿舎として借上)			
	公館 機能	面積	約323㎡			
一般開放		なし				
利用方法		各種団体等との会食を伴う交流会や懇談会等で利用				
主な特徴等		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時や来賓等は県庁舎で対応 ・旧公舎にあった樹木は可能な限り現公舎に移植 ・現公舎の間取りは、旧公舎と同程度、公館(機能)部分は旧公館(機能)部分の3倍の規模となっている 				
写 真						
						
公舎外観		公舎(公館機能)・応接室		公舎(公館機能)・配膳室		
						
公舎(公館機能)・応接室		公舎 庭				

(4) 宮崎県

調査年月日	令和2年(2020年)10月30日(金)					
参加者	宇野委員、宇佐美委員					
知事公舎・知事公館の概要						
公 舎	建築年	平成15年(2003年)	築年数	17年(調査時)		
	面積	約248㎡	居住部分: 約248㎡			
	階数	非公開	間取り	非公開	庁舎からの距離	3.5km
	同一敷地にある施設	知事公館(連絡通路で接続)・副知事公舎				
	周辺の環境	住宅街				
	公舎を有する理由	危機管理対応のため				
	改修	内容	現地改築(耐震化・老朽化・地盤沈下のための土地改良)			
		費用	約5.0億円(公館含む)			
知事以外の宿舎等	副知事: 戸建て、県警本部長: 戸建て					
公 館	建築年	平成15年(2003年)				
	面積	約375㎡				
	一般開放	一般に貸出				
	利用方法	危機管理、接遇、諸会議、来客対応等で利用				
主な特徴等	・災害時に公舎からの指揮が可能。県庁の災害対策本部と光ファイバーで結ばれており、被災地映像の受信も可能					

写 真



公舎外観



公館外観



公館ロビー



公館和室



公館会議室



公館応接室